

びがいのトビ ラ



【特集】市民インタビュー

都市農業のサポーター

新鮮野菜の地産地消で、心も体も健康に

援農ボランティア

P2

No.132

令和3年(2021年)
2月1日発行
(通巻241号)

- 審議した主な議案
- 市長提出議案 P4
- 委員会提出議案 P5
- 議員提出議案 P5

- 議案の議決結果 P6
- 市政について問う
《一般質問》 P8
- 議会活動報告 P17

都

市農業のサポーター

新鮮野菜の地産地消で、心も体も健康に

援農ボランティア



▲イチゴの無駄葉をつみ、害虫対策（中野農園・10月）
イチゴの収穫（12月）▶



「援農ボランティア」とは、農家とともに農産物の生産を手伝うボランティアです。農家の忙しい時期などに、活動をしています。市内農家との交流を図りながら、農業を応援する「援農ボランティア」の皆さんと受け入れ農家の方にお話を伺いました。

援農ボランティアとは、

参加のきっかけは？



宮川 修さん（73）受け入れ農家

勤めをやめ、農業を継いで30年。今は息子が引き継ぎ私

は手伝い。ボランティア5人に支えられています。米、野菜など20種の多品種栽培で毎日誰かに来ていただき、稲刈り等は全員集合で行います。主に4〜11月の午前中に作業。年金支給日には、金融機



川杉 一夫さん（73）宮川農園援農

62歳で海外コンサルタントの業務をリタイヤ。バイク

関の来店者サービス配布用の野菜を1000袋作ります。の免許を取って走り回っていたが、宮川さん宅に遊びに行き、押しかけボランティア9年。時間つぶしで始めたが、日々いろいろな体験で興味津々です。

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は経済委員会が担当しました。

【表紙の写真】
（令和2年10月撮影）
宮川農園とボランティアの皆さん
全員集合で稲刈り

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。



荒木 澄さん（80）宮川農園援農

高校まで北海道の農家で育ちました。スパーに30年

勤め、5年前に定年、援農6年目。種まき、鎌での稲刈りなど、ふるさとを思い出しています。別分野のボランティアもしています。



▲収穫したネギなどで1000袋作る
宮川農園（8月）

中野峰雄さん(68) 受け入れ農家



会社員から家業に転じて34年。相続税納税猶予制度は

自身の耕作が必要。幸い長女夫婦が継いでくれた。援農も5人で農学部の子生もいます。イチゴのハウス栽培を中心に、多品種栽培で地場産品として生協や直売所に納入。休日がほしいです。

庄司修身さん(82) 中野農園援農



技術系の仕事で海外にも出た。定年後、風の強い寒い



▲作業終了後のティータイムも楽しみ(中野農園・12月)

日に、中野さんがネギを収穫しているのを見かけて大変だなと思っ

た。広報はむらの援農募集記事を見たのがきっかけです。土曜日が全員集合の作業日でイチゴ、トマトなどの手入れをする。月3回ほどで12年活動。減農薬栽培も知り、家庭菜園に活かしています。

酒井 正さん(68) 中野農園援農



63歳で退職。3年ほど家でポットとしていたが、これ

じゃいかんと。月2回ほど、農業で季節を感じ、土に触れてストレス発散。草むしりで畔がきれいになるのも気持ちがいい。ボランティア保険もあり安心です。

楽しさ、大変さ、得られるものは

荒木 行くたびに作業が違うが、それも楽しみ。知人にも声をかけています。自分でも土地を借りて野菜を育てていますが、葉は虫に食われ、リースのように穴だらけ。農業は奥が深いなあ。

川杉 野菜の成長の達成感でよく眠れる。お土産の野菜に妻は大喜

びだし(笑)。日本の食料自給率

などもネットで調べるようになった。終了後の茶飲み話も楽しい。若い方の参加があれば、もっと(笑)。

酒井 除草や片付け、特に中腰作業は10分やっただけでも辛いが、世話をした所に目が行き、成長が嬉しい。自分の生産野菜だから何より安全です。

宮川 秋にはボランティア・農家・農業委員会のバーベキュー交流会を行います。故郷の話や、隠岐の島出身者が地酒を差し入れるなど、仲間意識が生まれる。都市農業は斜陽産業だが、欠かせない仕事、援農制度はそれを知りたい

機会。コロナ禍で給食用出荷は減ったが、直売所や市役所での臨時直売が大盛況。助かりました。

援農の希望者大歓迎

庄司 機械は耕すだけ。栽培は人だと実感する。朝起きて今日はどうしようかなあ?の人に声を掛けたい。楽な仕事ではないが、喜びも大きい、と。

中野 援農は随時募集中。農ウオーク参加者にもチラシを配ってPR。今は決まった農家に行くが、農家・援農者が登録して、必要な所で活動するよう調整する「NPOの援農ボランティア塾」はどうか、と考えています。

援農ボランティア制度

都市農業継続のため、1996年に東京都が援農ボランティア養成事業を開始。

羽村市では、農業委員会が運営し、現在8農家にボランティア37人が登録している。双方が面接をして、活動可能日数、米や野菜、花等の活動希望を聞いて調整。家庭菜園をやりたい人の勉強の場にもなっている。

問合せ 農業委員会事務局
555-1111(内線663)

インタビューを終えて

援農ボランティアの皆さん、明るくお元気。自然相手の農作業と地産地消の健康食の賜物だろう。共同作業で、仲間意識も高まるようだ。

国分寺市には援農者を育てる市民農業大学もあるという。ボランティア活動が、都市農業継続の支えであることを実感した。

お忙しいところご協力いただき、
ありがとうございました。

議

案審議

■第7回臨時会（11月）では、羽村市選挙管理委員及び補充員の選挙を行い、当選人を決定しました。

■第8回臨時会（11月）では、市長から提出された条例に関する議案2件を可決しました。

■第9回定例会（12月）に市長から提出された議案は、条例に関する議案6件、補正予算案5件、その他の議案1件、合わせて12件すべてを可決しました。

■委員会提出議案は、意見書案1件を可決しました。

■議員提出議案は、意見書案3件を可決しました。

■審査した陳情3件は、1件が採択、1件が不採択、1件が趣旨採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。

市長提出議案

■「羽村市障害児日中一時支援事業 青い鳥」を終了

羽村市福祉センター条例の一部を改正する条例

【主な内容】

児童福祉法の一部改正等により、障害児福祉サービスの内容が充実されたことを踏まえて、「羽村市障害児日中一時支援事業 青い鳥」を令和3年3月31日で終了するため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 令和3年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 現在「青い鳥」に通所している利用者の数は、利用者への対応は。

A 幼児部に5人、就学児童部に11人通所している。7月に保護者会を実施して説明を行った。今後は、個別に相談を受けて対応していく。

Q これまで「青い鳥」に従事していた職員はどうなるか。

A 社会福祉協議会への委託事業であるので、今後の職員の対応は、社会福祉協議会と相談して決めていく。

■ひとり親世帯臨時特別給付金「基本給付」再支給のための経費を計上

令和2年度羽村市一般会計補正予算(第9号)

【主な内容】

新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親世帯に大きな困難が生じていることを踏まえ、ひとり親世帯臨時特別給付金を再支給するために歳入歳出ともに3788万円を増額するものです。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 支給はいつになるか。

A 1回目の基本給付の支給を受けている方、または12月11日までに申請をしている方は、12月24日を予定している。

陳 情

国会における憲法論議の推進と広く国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する陳情書

〔要旨〕 日本国憲法について憲法審査会での審議の推進と、国民的な議論を喚起すべく、広く周知を図るよう意見書を提出してほしい。〔議決結果〕 採択

討 論

不 採 択

今、人々が望むのは、コロナ対策や災害対策、社会保障の充実に対する議論であり、改憲のための憲法審査会の議論ではない。〔日本共産党〕

採 択

日本国憲法は70数年間改正が行われていない。国内外の環境に合わせて見直す必要があり、憲法審査会においての実質的な審議が必要と考える。〔新国会〕

不 採 択

国民の命と健康を守るため、新型コロナウイルス感染症対策に全力をあげるべき。憲法改正の論議や審議に緊急性があるとはいえない。〔市民ネットワーク〕

不 採 択

憲法改正論は立憲主義に反している。直面する諸課題は法律で解決すべき。世論調査からみても改憲論は少数である。〔世論〕

羽村市議会議場に国旗及び羽村市旗の掲揚を求める陳情書

〔要旨〕 市議会議場に国旗及び羽村市旗の掲揚を求める。〔議決結果〕 趣旨採択

討 論

趣 旨 採 択

陳情の趣旨は理解できているが、コロナ禍において本陳情が市民にとって早急に対応すべき案件とは判断できない。〔公明党〕

趣 旨 採 択

過去に議会改革推進委員会で、掲揚しないと結論が出ている。陳情の内容には反対だが、市民の発言の自由は認められなければならないので趣旨採択。〔世論〕

趣 旨 採 択

本陳情に対する市民から反対の要望もあり、反対を押し切ってまでやるべきではない。議会改革推進委員会でも改めて検討してもよいのでは。〔日本共産党〕

委員会提出議案

意見書を可決しました

国会における憲法論議の推進と広く国民的議論の喚起を求める意見書

国会及び政府に対して、日本国憲法についての活発かつ広範な議論を推進するとともに、国民的な議論を喚起すべく、広く周知を図ることを強く要請する。〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣

議員提出議案

意見書を可決しました

小中学校における少人数学級の実現を求める意見書

速やかに少人数学級を実現できるような環境整備を含め必要な措置を講じることを求める。〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

自治体病院の経営悪化に対する継続的な支援を求める意見書

自治体病院の経営悪化に対し、継続的に特段の財源措置を講じるよう強く求める。〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、東京都知事

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

不妊治療への保険適用の拡大を求める。〔提出先〕 内閣総理大臣、厚生労働大臣

趣旨採択とは・・・

請願・陳情の願意については十分理解できるが、財政事情等から、当分の間は願意を実現することが困難な場合などに、「趣旨には賛成である」という意味の議決をすること。

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継（12月8日・15日・18日分）をご覧ください。

■市長提出議案の議決結果

<第8回臨時会(11月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 期末・勤勉手当の年間支給月数を4.65月から4.55月(再任用職員は2.45月から2.4月)に引き下げ、6月及び12月に支給する期末手当1.3月を1.25月(再任用職員は0.725月を0.7月)とする改定を行うため、条例の一部を改正する。	原案可決
羽村市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例 常勤職員(再任用職員を除く)に準じて期末手当の支給月数を改定するため、支給月数を定めているものを「職員の給与に関する条例」を準用するよう改めるため、条例の一部を改正する。	

<第9回定例会(12月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果
羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例 都市計画税の税率の特例措置が令和2年度をもって終了することに伴い、引き続き令和3年度の特例措置を設けるため、条例の一部を改正する。	原案可決
羽村市福祉センター条例の一部を改正する条例 P 4 参照	
羽村市介護保険条例及び羽村市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、地方税にかかる延滞金を規定する用語が見直されたことに準じて、介護保険料及び後期高齢者医療保険料の延滞金の割合にかかる用語の見直しをするため、関係する条例の一部を改正する。	
羽村市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、国民健康保険税の軽減制定において不利益が生じないよう条例の一部を改正する。	
羽村市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 市が管理している道路の占用料に関し、受益者負担の適正化を図るため、条例の一部を改正する。	
羽村市特定公共物管理条例の一部を改正する条例 市が管理している水路の占用料に関し、受益者負担の適正化を図るため、条例の一部を改正する。	
令和2年度羽村市一般会計補正予算(第8号) 歳入歳出それぞれ2億2,750万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ296億3,530万円とする。	
令和2年度羽村市一般会計補正予算(第9号) P 4 参照	
令和2年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ168万6千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ60億8,679万7千円とする。	
令和2年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ110万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ13億2,134万円とする。	
令和2年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ37万2千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ39億5,836万7千円とする。	
市道路線の廃止について 一般交通の用に供されておらず、現地においても道路機能を有していない市道路線を財産処理に伴い廃止する。 羽村市大字五ノ神字武蔵野361番地2先から361番地1先の路線「市道第2135号線」	

■陳情の審議結果

件名	審査した委員会	会派名 (数字は人数)								本会議での議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
		(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
国会における憲法論議の推進と広く国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する陳情書	総務委員会	○	○	○	×	×	×	○	○	採択
陳情「誤り発言は 会議にて訂正を」	議会運営委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
羽村市議会議場に国旗及び羽村市旗の掲揚を求める陳情書		□	□	□	□	□	□	□	□	趣旨採択

■委員会提出議案の議決結果

件名	提出した委員会	会派名 (数字は人数)								議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
		(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
国会における憲法論議の推進と広く国民的議論の喚起を求める意見書	総務委員会	○	○	○	×	×	×	○	○	原案可決

■議員提出議案の議決結果

件名	議決結果
小中学校における少人数学級の実現を求める意見書	原案可決
自治体病院の経営悪化に対する継続的な支援を求める意見書	
不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	

■第7回臨時会（11月）に行った羽村市選挙管理委員および補充員の選挙結果（当選人）

羽村市選挙管理委員				羽村市選挙管理委員補充員			
堀口 勝	小林美由	鈴木多美子	宮澤正弘	中野 修	雨倉千恵子	雨倉みよ子	阿部義幸

※指名推選によることを可決し、議長指名により当選人を可決しました。

凡例

- 各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対
- …採択 ×…不採択 □…趣旨採択
- 会派名 ■ 令…令和かがやき 公…公明党 新…新政会 共…日本共産党
- ネ…市民ネットワーク 世…世論 力…つながる力 風…新しい風

会派名簿

令和かがやき おおつか 大塚あかね はせひら 馳平 耕三 はまなか 濱中 俊男 みずの 水野 義裕	公明党 なかじま 中嶋 勝 とみなぎ 富永 訓正 にしかわ 西川美佐保 いしい 石居 尚郎	新政会 あきやま 秋山 義徳 いんなみ 印南 修太 とみまつ 富松 崇 はしもと 橋本 弘山	日本共産党 はまなか 浜中 順 すずき 鈴木 拓也	市民ネットワーク もんま 門間 淑子 ひでこ	世論 やまざき 山崎 陽一
				つながる力 たかた 高田 かずと 和登	新しい風 かじ 梶 まさあき 正明

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。